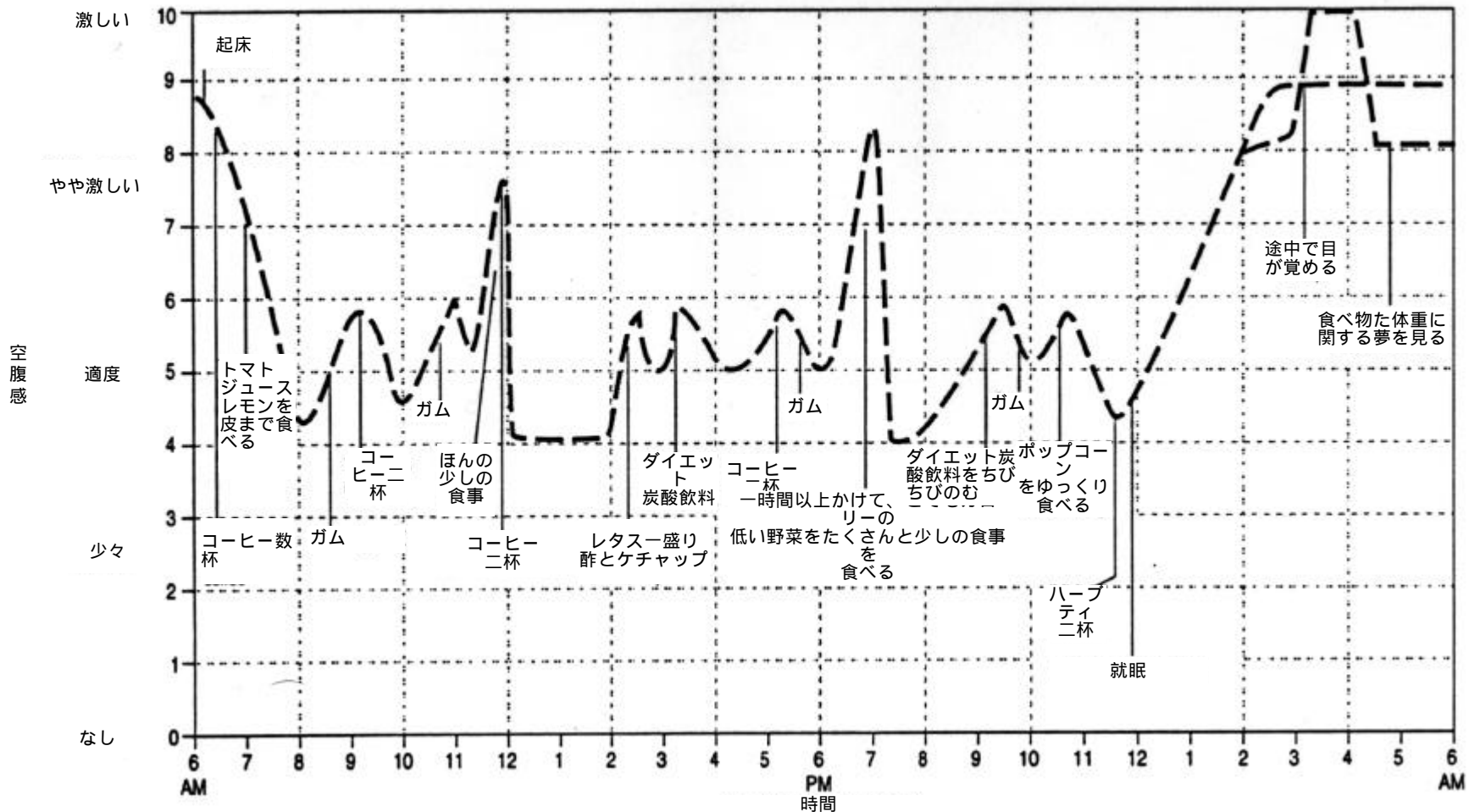


図1 拒食症患者の空腹感と食事摂取パターン



- A. 空腹感は「適度」の範囲にコントロールされている。彼女は空腹感がないと感じることを通常、許さない。なぜならそれはコントロールを失うような、また体重が増えるような気がするからである。苦痛なので激しい空腹感を感じることもさせない。
- B. 無秩序な食物摂取パターン、量が多く低カロリーかノンカロリーで香りのする食べ物を摂取していることに注目
- C. 「適度」から「激しい」空腹感には、睡眠を妨げ、起きたときには食べたり運動したりすることもある。
- D. 食べ物の夢は「適度」から「激しい」空腹感の間によく起こる。